

## 愛知公演

愛知  
芸文  
フェス

シエラ

日時：2015年11月28日(土) 15時、19時 (30分前開場)  
11月29日(日) 15時

会場：愛知県芸術劇場小ホール

料金：前売 | 一般 5,000円 / 学生 4,000円 [学生(4才~大学生・25才以下)] 全指定席  
当日 | 5,500円 (全席種)

主催：愛知県芸術劇場



助成：平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業 文化庁

協賛：チャコット株式会社 Chacott

※3歳以下のお子様はご入場できません。

チケット取り扱い：

■ 愛知芸術文化センター内プレイガイド

☎ 052-972-0430

(10:00—19:00 <土日祝は18:00まで> / 月曜定休、祝日・振替休日の場合は翌日振替)

■ チケットぴあ

☎0570-02-9999 [Pコード：445-888] <http://t.pia.jp/>

(ぴあ店頭、セブン-イレブン、サークルKサンクス)

お問合せ：

愛知県芸術劇場

☎ 052-971-5609 (10:00—18:00) e-mail: [nagoya@stravinsky3.com](mailto:nagoya@stravinsky3.com)

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2

## 東京公演

ARCHITANZ 2015

日時：2015年12月8日(火) 19時 (30分前開場)  
12月9日(水) 19時

会場：草月ホール 東京都港区赤坂7-2-21 草月会館B1

料金：前売 | 5,000円 全指定席  
当日 | 5,500円

主催：株式会社アーキタンツ

助成：公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、芸術文化振興基金助成事業

※未就学児のご入場はご遠慮ください

チケット取り扱い/お問合せ：

スタジオ アーキタンツ

チケットのお申込みは、下記まで、ご希望日時、ご希望枚数、お名前、お電話番号をお知らせください。

☎ 03-5730-2732 (平日10:30—20:30 / 土日 10:30—19:00)

e-mail: [tokyo@stravinsky3.com](mailto:tokyo@stravinsky3.com) Fax: 03-5730-2733

〒105-0023 東京都港区芝浦1-13-10 第3東運ビル4F

## 熊本公演

日時：2015年12月12日(土) 19時 (60分前開場)

※18時20分よりプレトークあり

(唐津絵理：本公演プロデューサー、愛知県芸術劇場シニアプロデューサー)

会場：熊本・市民会館崇城大学ホール

料金：前売、当日 | 一般 3,000円 / 大学生以下 1,500円 全指定席

主催：熊本市・熊本市文化事業協会

後援：熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本日日新聞社

NHK熊本放送局、RKK、TKU、KKT、KAB、FMK、FM791

助成：芸術文化振興基金助成事業

※3歳以下のお子様はご入場できません。

チケット取り扱い：

■ 市民会館崇城大学ホール窓口 ☎ 096-355-5235 (8:30—19:00)

■ 熊日プレイガイド ☎ 096-327-2278 (10:30—18:30)

■ オフィス・ムジカ ☎ 096-355-7315 <http://www.officemusica.com/>

■ チケットぴあ ☎ 0570-02-9999 [Pコード：445-472] <http://t.pia.jp/>

■ ローソンチケット ☎ 0570-084-008 [Lコード：87061] <http://l-tike.com/>

お問合せ：

熊本市文化事業協会

☎ 096-355-5235 (8:30—19:00) e-mail: [kumamoto@stravinsky3.com](mailto:kumamoto@stravinsky3.com)

〒860-0805 熊本市中央区桜町1番3号 (市民会館崇城大学ホール内)

※毎月第1・第3月曜日は休館

チケット発売日：

2015年9月26日 一般発売開始

※不可抗力(天災等)による公演中止をのぞいてチケットの払い戻しは致しません。

企画・制作：

愛知県芸術劇場

株式会社アーキタンツ

<http://stravinsky3.com/>

プロデューサー：唐津絵理 (愛知県芸術劇場)、福田友一 (株式会社アーキタンツ)

舞台監督：尾崎聡 (株式会社 流) / 照明：伊藤雅一 (株式会社 流)

音響：金子伸也 / プロダクション・マネージャー：佐藤美紀

宣伝美術：小山睦浩 (mograp)

春の祭典 ©Andreas Birkigt / 兵士の物語 ©Tatsuo Nanbu / 火の鳥 ©Hidemi Seto

# Stravinsky Triple Bill

ストラヴィンスキー・トリプル・ビル  
現代バレエで見る、ストラヴィンスキーの音楽

## 春の祭典



## 火の鳥

### 愛知公演

11月28日(土) 15時 / 19時

29日(日) 15時

愛知県芸術劇場小ホール

### 東京公演 ARCHITANZ 2015

12月8日(火) 19時

9日(水) 19時

草月ホール

### 熊本公演

12月12日(土) 19時

熊本・市民会館崇城大学ホール



## 兵士の物語



ARCHITANZ

AICHI ARTS CENTER



# Stravinsky Triple Bill

## ストラヴィンスキー・トリプル・ビル

現代バレエで見る、ストラヴィンスキーの音楽

20世紀を代表する音楽家のイーゴリ・ストラヴィンスキーは、音楽の世界のみならずダンスと音楽の関係を一転させた作曲家としても有名です。

振付家の試金石と言われる『春の祭典』を始め、多様な振付家との共同制作を通して数々の名曲を生みだし、世界中のアーティストに多大な影響を与えてきました。

本公演では、ストラヴィンスキーが舞台用に作曲した音楽『火の鳥』、『春の祭典』、『兵士の物語』に世界的な振付家が挑むことで誕生した3つのダンス作品を上演します。  
日本を代表するバレエダンサーに加え、海外からのゲストダンサーも参加  
斬新な振付による舞台を、最高のダンサーによってお届けします。

※演奏は特別録音による音源を使用します。

## マルコ・ゲッケ振付

### 『火の鳥』の パ・ド・ドウ

出演：アレクサンダー・ザイツェフ、酒井はな  
振付：マルコ・ゲッケ  
世界初演：2010年 スカピノ・バレエ・ロッテルダム  
上演時間：10分



©Hidemil Seto

バレエ・リュスのプロデューサー・ディアギレフの依頼により、ストラヴィンスキーが初めてバレエ用に書きあげた音楽が、この『火の鳥』です。斬新な振付で世界中のバレエ団から人気の高いマルコ・ゲッケによる本パ・ド・ドウは、ARCHITANZ 2014に於いて酒井はなとロバート・テューズリーが踊り絶賛された作品。本公演では、酒井はなとアレクサンダー・ザイツェフが踊ります。

## 振付家：マルコ・ゲッケ | Marco Goecke



ハーグ王立コンセルヴァトワールで学んだ後、ベルリンのシアター・ハーゲンでダンサーとして活躍。最初の振付作品はハノーヴァー振付国際コンクールで上演。2005年よりシュツットガルト・バレエ団の常任振付家として活動。2006年にはモナコ・ダンス・フォーラムにて次世代を担う振付家部門のグランプリを受賞。その独創的かつ卓越したダンスは異才を放ち、国際的な注目を集め、多数のバレエ団で作品がレパートリー化されている。

## 出演者

### アレクサンダー・ザイツェフ | Alexander Zaitsev



ポリショイ・バレエ学校を卒業と同時に、同カンパニーに入団。ドレスデン州立バレエ団を経て、1996年にシュツットガルト・バレエ団に移籍。2013年に退団するまでプリンシパルとして活躍。英国ロイヤル・バレエ団、ライブツィヒ・バレエ団など世界各国のバレエ団から招聘される。

### 酒井 はな | Hana Sakai



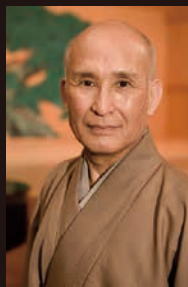
14歳で牧阿佐美バレエ団公演に出演、18歳で主役デビュー。新国立劇場バレエ団に移籍し、主役を務める。常に新境地を拓くダンサーと評され、村松賞新人賞、中川鋭之助賞、服部智恵子賞、舞踊評論家協会賞など受賞歴多数。2008年芸術選奨文部科学大臣賞、15年ニムラ舞踊賞受賞。

### 小尻 健太 | Kenta Kojiri



第27回ローザンヌ国際バレエコンクールにてプロフェッショナル・スカラシップ賞受賞。モンテカルロ・バレエ団を経て、ネザーランド・ダンス・シアター 1で活躍。サドラーズウェルズ劇場、Noisml、アジア・ソサエティなど、舞踊家、振付家として国内外で幅広く活躍。Opto主宰。

### 津村禮次郎 | Reijiro Tsumura



シテ方観世流能楽師。女流能楽師の開祖、津村紀三子に師事。1969年観世流師範、74年に緑泉会会主。91年重要無形文化財保持者に認定。古典能の公演のほか指導者として若手の育成にも務める。また、新作能の他、コラボレーション作品も多数。2010年度文化庁文化交流使。

### 高比良 洋 | Yo Takahira



ヨー・バレエスクール、北京ダンスアカデミーを経て、中国国立バレエ団のツアーに参加。2005年香港バレエ団に入団、12年ソリストに昇格。14年に退団するまで、古典及びナチョ・ドゥアットやウィリアム・フォーサイスなどのコンテンポラリー作品で主要な役柄を演じる。

## ユーリ・ン振付

### 『悪魔の物語』(「兵士の物語」より)

出演：小尻健太(兵士)、津村禮次郎(悪魔)、酒井はな(プリンセス)

演出・振付：ユーリ・ン

世界初演：2004年 知立市文化会館、愛知県芸術劇場

上演時間：30分(予定)

愛知芸術文化センターのダンスオペラ第一弾として2004年に愛知にて初演された作品の改訂版。その後香港では香港小交響楽団と共にコンサート・ヴァージョンへと改訂、アジアで再演を繰り返し、香港ダンスアワードを受賞しました。今回は初演から11年を経てキャストを入れかえ、新進気鋭の振付家とともにリ・クリエイションを行い、新たにダンス・バージョンとして改訂・再演します。



©Tatsuo Nanbu

## 振付家：ユーリ・ン | Yuri Ng



カナダ国立バレエ学校、英国ロイヤル・バレエ学校に学び、アデルン・ジュネ・コンクールで金メダル。83-90年カナダ国立バレエ団。93年より香港を拠点に振付家として活動を開始し、香港バレエ団、CCDC、雲門舞集、シンガポール・ダンス・シアター等に作品を提供。97年香港アーティスト・オブ・ザ・イヤー、98年「ボーイ・ストーリー」でバニョレ国際振付賞、99年、2004年に香港ダンスアワードを受賞。

## ウヴェ・ショルツ振付

### 『春の祭典』

出演：アレクサンダー・ザイツェフ / 高比良 洋 (ダブル・キャスト)

振付指導：ジョヴァンニ・デ・パルマ

振付：ウヴェ・ショルツ

世界初演：2003年 ライプツィヒ・バレエ団

上演時間：34分

ダンサーを音符のように動かし交響曲を奏でる「シンフォニック・バレエ」の完成者と目されながら、2004年に急逝した奇才ウヴェ・ショルツ。ウヴェがジョヴァンニ・デ・パルマの為に創作した『春の祭典』ソロ・ヴァージョンを日本初上演します。出演は元シュツットガルト・バレエ団プリンシパルのアレクサンダー・ザイツェフと元・香港バレエ団ソリスト高比良洋のダブル・キャスト。繊細であり、且つ力強い作品を2人のダンサーがそれぞれどのように踊るのか、日本初演に期待が高まります。



©Andreas Birkigt

## 振付家：ウヴェ・ショルツ | Uwe Scholz



ダルムシュタット音楽院で学び、若き日には指揮者を志す。1973年シュツットガルト・バレエ学校を経て、同バレエ団に入団。82年、常任振付家に就任。チューリッヒ・バレエ団の首席振付家を経て、91年にライブツィヒ・バレエ団の振付家兼芸術監督に就任。96年ドイツ国民栄誉賞を受賞。世界的なバレエ団へも多数振付し、100作品以上を生む。2004年に46歳の若さで急逝。音楽と一体化した振付は特に高く評価されている。